

# オーケストラ



福山市立長浜小学校  
5年学年通信 No.39  
令和5年10月23日



## ☆☆「新しい輝き～52人の開幕宣言～」☆☆



夏休みから練習してきた1人技。9月後半から6年生と合同で練習した組体操やダンス。その中で、今まで挑戦したことがなかった、2人技、3人技、4人技、6人技と、自分以外の誰かと心を1つにし、支える人もその上に乗る人も、役割を果たすために、考えながら練習してきました。広い運動場で、自分たちの精一杯の力を出し切ろうと頑張る子どもたちの姿に、感動したという温かいメッセージを多数いただきました。温かい声援ありがとうございました。



10月15日は、ふれあい体育祭でした。その日の朝は、いつもより早く起きられました。楽しみだったからだと思います。出発10分前に、家の外に出ていました。「今日は、私が楽しみにしていた運動会」と話していました。朝、学校に着くと、もうほとんどの5年生が教室に集まっていた。開会式は、一瞬で終わったような気がしました。

本番がスタートし、1、2年生の玉入れが1番初めの仕事でした。同じ係の子と赤組と白組に分かれて、数を数えました。仕事が終わると、すぐに入場門の所にならびました。競技が終わって、応援などを行っているうちに、午前の部が終わってしまいました。お昼は、友達や家族と楽しく過ごしました。

午後の部から、5・6年生の本番が始まりました。綱引きや組体操など5・6年生対象の物がたくさんありました。特に印象に残っているのは、組体操です。自分で作ったTシャツを着て、演技をしました。1番するのは、こわかったのは、「3人ピラミッド」と「補助倒立」です。上に足を上げたり、人の上に立つのが苦手なので、この技をする時が1番ドキドキしていました。

今年のふれあい体育祭は、6年生と一緒にする最後の体育祭でした。6年生との最後の体育祭は、スローガンの通り、1人ひとりが主役になれる最高のステージだったと思います。今まで支えてくれた仲間たち、家族、先生方、日々の練習につきそってくれて、ありがとうございました。また、来年も楽しみです。（林 美憂）

私が今回の体育祭で心に残ったことは、3つあります。

1つ目は係の仕事です。私の体育祭の目標は、「早く正確に行動する」ことでした。私は、この目標を達成することができたと思います。その理由は、自分の係の仕事が近づいてきたら、すぐに移動して、準備も片付けも早く正確にできたからです。来年は、自分たちが中心になって体育祭や行事をするから、今年の6年生のようにメリハリをつけて行動したいです。

2つ目は、団体演技です。なぜ、これが心に残ったかということ、今まで家や学校での努力を出し切れたのと、今年のスローガン「心を1つに～みんなが主役になれる最高のステージ～」の心を1つにして、2人技、3人技、6人技、そして全員技に挑戦できたからです。この心を1つにする事は、まだまだいろいろな場面で必要だから、もっとみんなと心を1つにしたいです。

3つ目は、片付けの作業です。なぜこれが心に残ったかということ、これもみんなで心を1つにしてブルーシートを運んだり、テントを運んだりできたからです。とっても大変だったけれど、みんなで心を1つにしたので、あっという間に片付けが終わりました。だから、何か大変なことがあったら、みんなで心を1つにして、講堂していきたいです。

今回の体育祭で私は、自分から進んで何かをする力がつきました。この力がついたと思った理由は、片付けの時に、困っている子の手伝いができたからです。この力を生かしていきたいです。（吉池 明音）